

## 第67回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

### 1 日 時

平成23年4月28日 10時00分

### 2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

### 3 配布資料

第67回宮城県災害対策本部会議資料

### 4 議事要旨

#### ○菊地危機対策課長

- ・被害状況について、死者87人増加し、8,622人である。
  - ・その他住家・非住家被害、避難所、ライフライン、各部の被害額は資料のとおりである。
- 特に大きな変化はなし。

#### ○今野総務部長

- ・特に変更なし。

#### ○伊藤震災復興・企画部長

- ・阿武隈急行線：福島ー富野間 臨時ダイヤで運行中である。

#### ○小泉環境生活部長

- ・水道水の放射能測定結果について、放射性ヨウ素、放射性セシウムともに不検出である。

#### ○岡部保健福祉部長

- ・ボランティアについて、2千名を超える方々に活動いただいている状況である。

- ・「緊急小口資金特例貸付」の受付窓口について、本日までで特設会場については閉鎖。

今後は、社会福祉協議会に窓口を設けて相談に応じる。4月13日時点で約23億の貸し付けを行っている。

#### ○河端経済商工観光部長

- ・特になし

#### ○千葉農林水産部長

- ・被害状況について、変更なし。
- ・食材王国みやぎのホームページを再開した。
- ・スタイルを一新し、首都圏での応援フェアや県内各地の食関連イベントを掲載した。
- ・食産業の情報掲示板として、食関連事業者間の取引の拡充と情報共有に利用できる場の提供を行う。

#### ○橋本土木部長

- ・国土交通省に要望していた災害査定の特例について追加した。
- ・1箇所の決定見込金額を4億円以上から30億円以上に引き上げる。

#### ○自衛隊

- ・生活支援については変化無し。遺体の収容について、昨日は12体収容。

#### ○竹内警察本部長

- ・累計8,776体を収容した。昨日は、23体の遺体を収容した。
- ・瓦礫の中から遺体が収容されるケースが増えている状況であり、今後も一体でも多く発見、収容していきたい。
- ・昨日の天皇皇后両陛下の幸行啓に際し、各機関に御協力いただき感謝申し上げます。

#### ○教育委員会

- ・公立学校等の被害状況について、前回より42校増えて739校である。
- ・被害額について、学校、社会教育施設ともに増えて1,010億円となっている。
- ・新たに2校の再開場所が決まった。

#### ○伊藤企業局長

- ・特になし。

#### ○村井災害対策本部長

- ・本日で発災から49日目を迎える。改めてお亡くなりになられた皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。
- ・昨日、両陛下の行幸啓が実施された。宮城県をはじめ、関係機関が昼夜を分かたず、県民のために対応していることに対し労いのお言葉を頂いた。
- ・被災者の方、お一人おひとりにたいへん時間を掛けてお話を聞かれているその姿に接して、本当にありがたいという思いであった。
- ・両陛下のお気持ちを汲んで、しっかり復旧・復興に取り組んでまいりたい。
- ・明日以降の災害対策本部会議の開催について、明日から来週に掛けて大型連休期間となる。今週月曜日の記者会見でも県民の皆様向けにお話したが、県職員及び本部会議にご出席の関係機関の皆様にも可能な範囲で県内の観光地などにお出かけいただきたい。
- ・街中のビジネスホテルは混んでいるようだが、一步離れて温泉地街に行くとお客さんがいなくて苦しんでいるという状況である。県内の観光地等に出てください、是非とも消費に努めていただきたい。
- ・今後は、土日と祝日は本部会議を開催せず、代わりに情報連絡員会議を開催することとし、それを明日から適用することとする。しかし、余震など余談を許さない状況であることから、

即時に県庁に集まれる体制を必ずとっておいていただく。決して休みという訳ではないので、必要な人員はしっかり付ける。復旧・復興が最優先であることを忘れないように。

次回は5月2日10時00分に開催する。